

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 初生子どもの家 てんし・第2てんし

公表日 2024年9月30日

利用児童数 24 回収数 21

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2		3	学年が大きい子たちが増えると、自由に動くスペースがすくなくなりそう。	運動遊び等、体を使った動きでは、思い切り体を動かせないため、外庭を活用して、体を動かす楽しさを知ってもらおう。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			3		引き続き、年齢や特性に応じた関わり方を意識していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	1	2	平日のざっくりな予定はわかるが、より細かく教えていただくと、ありがたい。	長期休みに行っている・タイムスケジュールを平常時も紙に書くなどして視覚化していくことも検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19		1	1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1		2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14		2	5		個別支援計画と支援プログラムの違いを保護者の方に、しっかりと伝えられるようにしていく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					引き続き面談や送迎時の対応等で保護者の方と連携しながら支援計画に生かしていきたい。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1		2		引き続き、子ども一人一人の特性を理解し、その子にあった支援ができるように、職員で情報共有する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21					引き続き、子どもたちが飽きずに楽しめるような活動や、一人一人のニーズを理解しながらできるだけ浴えるように努める。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		1	14		今後、必要に応じて他事業所との交流を少しずつ作っていければと考えている。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				(※未回答1)	変更があった場合は、その都度変更内容を伝え了承を得る。(職員がしっかりと把握し、誰でも説明できるようにしていく)
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1		12		年に数回土曜日を開放し、親子で一緒に楽しめる時間を提供できるように検討していきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	19	1		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20		1			引き続き定期的に面談を行い、助言まではいかなくても、家庭での様子や、事業所での様子を共有していく事を大切にしたい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1		1		一人ひとりの子に対しての情報をできるだけ多く持ち、それらを職員でしっかり共有していけるよう努める。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	5	11	保護者同士が・困りごとをどう解決しているか話し合いの場があるとよい。(相談する場が欲しい)	年間通して数回土曜日を開放し、親子の触れ合いの時間や、困りごとを職員と話し合える場としていけるよう検討していく。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		1		子ども、保護者、苦情解決の策流れなどを改めて職員で共有する。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1		3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17			4		月1回のお便り、子どもたちの様子や事業所内での取り組みをより詳しく伝えていけるよう、内容を改善していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		2	建物の耐震が心配	定期的な点検を実施するなど、安全状態を確認する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		1		防災に対する意識が高められるよう、定期的な訓練を今後も行っていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1		いつ、どこで、どのようにがしっかり伝えられるように努めていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19			2		子どもたちの困りごとを少しでも解消できるように、職員が一人一人の子どもをしっかり受け入れられるよう、子どもの話し合いを研修等で取り入れていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3		1	学校では自分を出せないが、ここではみんなが受け入れてくれるため楽しくて仕方がない。本人が自分の居場所だと思っている。	引き続き、子どもたちが通所を楽しみにしてくれる施設を目指していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			沢山のことを経験させて頂き、本当に満足しています。	引き続き、日々の支援の振り返り、改善を行うことで事業所としての色も見出していききたい。